

大太鼓が修理を終えて帰ってきました。



6月24日、修理を終えた大太鼓が内子高校に帰ってきました。トラックから、カバーで包まれた大太鼓が出てきました。およそ1か月半ぶりの再会です。

ちょうど授業中だったため、教員が大太鼓を下ろしました。そのまま放課後まで、体育館下で待機です。久しぶりに内子高校の空気を吸いながら、長旅の疲れを癒しているようでした。

放課後、大急ぎで部員たちが集まってきました。しかし、感激に浸る間もなく、すぐに体育館に運び上げようとします。一刻も早く体育館ステージの定位置に大太鼓を落ち着かせたいようでした。

大太鼓は、革が新しくなって端の方までまっすぐに伸びた分、直径が広がっていました。階段の柱との隙間は左右およそ1センチ！

慎重に慎重に運び上げられた大太鼓は、無事に体育館のステージの中央に収まりました。やはりここが定位置です。お帰りなさい。

明後日から期末考査が始まるので練習はできませんが、少しだけたたき初めをしたのは言うまでもありません。

見てください。優しい乳白色の革がとても綺麗です。

本当に、お帰りなさい。

